

泊地域小さな拠点検討協議会 アンケート調査について

泊地域小さな拠点検討協議会
会長 遠藤 公章

【泊地域の現状】

泊地域では、昭和 20 年代をピークに人口減少を続け、高齢化もあり少子高齢化が進んでいます。現在はピーク時の約半分（約 2500 人）になっています。人口減少と同様に、店舗も減少を続けています。また、泊地域唯一の民間銀行は平成 30 年 1 月に支店の廃止を発表しており、ますます生活環境の悪化が予想されます。人口減少や店舗等生活に必要な機能が無くなる等により、特に移動手段のない高齢者が今後 5 年後、10 年後も生活が維持できるか不安な状況です。

協議会では、これまでに各区長にも参加していただき、ご意見をいただきながら、会議を 13 回開催し、「人口減少を食い止めるにはどうすればよいか」、「お年寄りがこれからも地域で生活するためにはどうすればよいか」を大きなテーマとして議論をすすめました。

その対策として

- ①住む場所・人の確保 → 新たな団地・分譲地の造成、空き家の活用
- ②買い物の確保 → 拠点内の店舗設置、移動販売、移送方法

を検討し、拠点の場所の絞り込みを行ってきました。

今後、買い物対策の検討をさらに進めていく上で、泊地域住民の皆さんの買い物・店舗、住宅用地に対する意識を調査させていただくことにしました。お手数ではございますが、別紙アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

○そもそも「小さな拠点」づくりとは何か？

→これからも暮らし続けるための、「まちづくり」「再生」です！

泊地域の老朽化した公共施設(役場泊支所、中央公民館泊分館、青少年の家、漁村センター)の見直しとともに、生活・福祉サービスや地域活動などのさまざまな機能をつなぐことです。

これらの検討をするため「泊地域小さな拠点検討協議会」が設置され協議を進めてきました。

※泊地域小さな拠点検討協議会概要

- ・委員 11名
(公募、産業界、福祉関係および金融機関より選出)
- ・設置 平成 28 年 9 月

区分	氏名	
会長	遠藤 公章	公募
副会長	石沼 友	湯梨浜町商工会 副会長
委員	朝日田 卓朗	鳥取県漁業協同組合 泊支所 組合員
	岩本 瑩	鳥取中央農業協同組合 泊支所 金融共済課兼ふれあい推進課長
	石本 義之	湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長
	鷲野 星夫	山陰合同銀行泊出張所長
	田嶋 昭彦	公募
	渡邊 由佳	公募
	中原 政喜	公募
	石井 美佳代	公募
	坂田 克	公募

○店舗の場所、内容について（案）

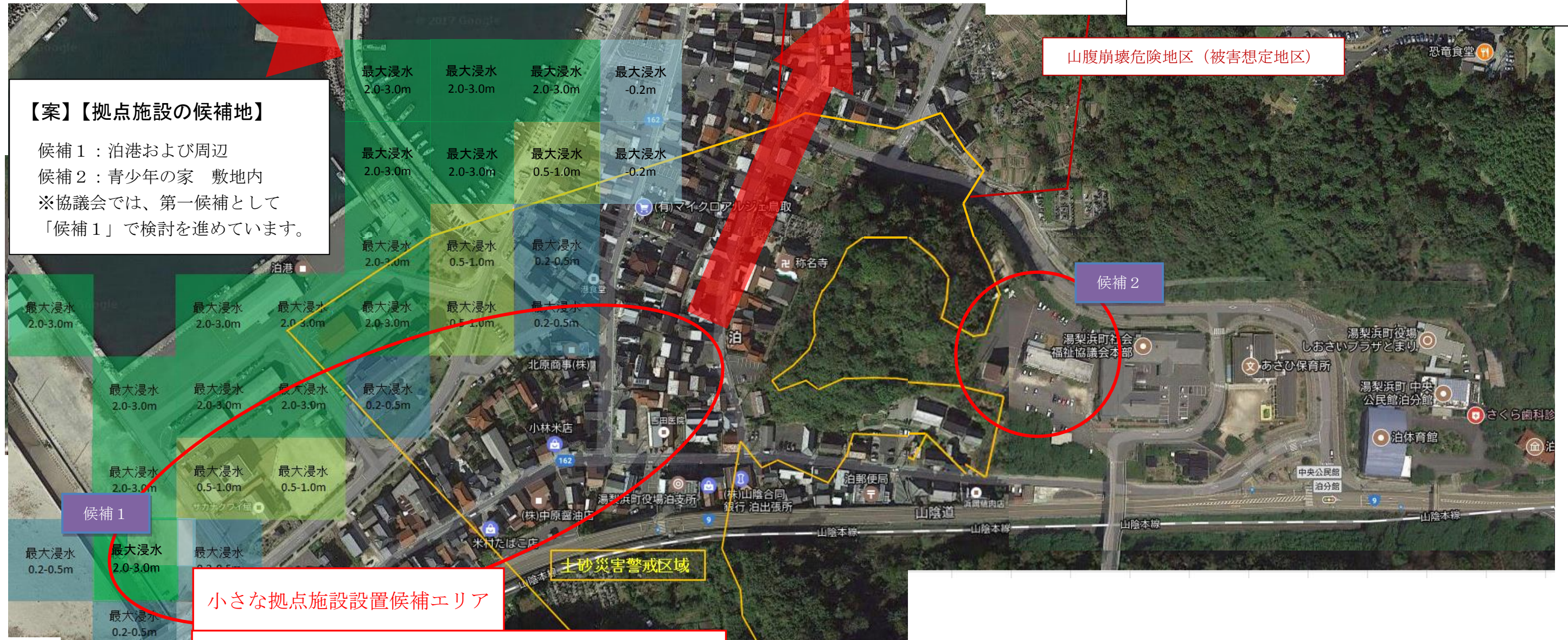


【拠点の設置時期】
おおむね3～5年後を
想定しています。

- 【拠点に備える機能案】
- 役場機能
 - 各種証書発行
 - 各種申請
 - 公民館機能
 - 住民活動
 - 住民コミュニティの場
 - 買い物機能（店舗）
 - 日常生活品の購入

役場機能 公民館機能 買い物機能

- 【店舗に関する案】
- 寄付
 - 住民や有志、各区が寄付を想定
 - 運営
 - 住民や有志、各区代表が集まった団体を作り運営を想定
 - 商品の種類
 - ミニスーパー程度を想定（約700品目）
 - 商品の価格
 - スーパーマーケット（まるごう、新あじそうなど）と同程度を想定
 - 営業時間
 - 朝9時～夜7時 週1回休みを想定



【案】【拠点施設の候補地】

候補1：泊港および周辺
候補2：青少年の家 敷地内
※協議会では、第一候補として「候補1」で検討を進めています。

小さな拠点施設設置候補エリア
拠点（役場機能、公民館機能、買い物機能）の場所として、泊漁港周辺の範囲を考えています。

○店の商品、価格のイメージ（他県での特売のチラシの一例です。）

※あくまで、例ですので実際の販売では、商品、価格が異なる可能性があります。

※商品の価格は、スーパー並みの価格を想定しています。

※商品の種類は、一例です所以他の商品も販売する予定です。（ミニスーパー並みの品数）

表示価格は全て税抜価格です

<p>熊本産・他 レタス 1玉 148 税抜円</p>	<p>たまご M玉 1パック 138 税抜円</p>	
<p>フィリピン産 バナナ 1袋 148 税抜円</p>	<p>国産果実ジュレ (みかん・ビオーネ・白桃) 各127g 98 税抜円</p>	
<p>木綿豆腐 400g 58 税抜円</p>	<p>牛乳 1000ml 218 税抜円</p>	<p>1人前で簡単調理! むし焼きそば 130g 38 税抜円</p>
<p>1人前で簡単調理! ゆでうどん 180g 38 税抜円</p>	<p>珈琲 (無糖・低糖) 各930ml 80 税抜円</p>	<p>しっとりかすていら 1個 98 税抜円</p>

【お問い合わせ先】

泊地域小さな拠点検討協議会 事務局 （役場 みらい創造室 35-5313 ）

湯梨浜町泊地域買い物に関するアンケート調査票

泊地域小さな拠点検討協議会

協議会では、新たな拠点施設の場所、買い物方法等について検討しています。このアンケートは、主に拠点の場所、買い物（店舗を利用するかどうか、寄付できるかどうか等）について住民の皆さんのご意見を調査するものです。ご協力をお願いします。

ご家族の皆さんで話し合った上で、ご家族皆さんの意見としてアンケートに回答いただきますようよろしくお願いします。

※回答者について（本アンケートを回答される方についてお答えください。）

記入者 性別（ 男性 ・ 女性 ） 年齢（ _____ 歳）

家族構成 年齢構成（最年少 _____ 歳から最年長 _____ 歳）

1. ひとり暮らし
2. 夫婦のみ
3. 家族と同居（ _____ 人家族）
4. その他（ _____ ）

問1 小さな拠点の場所は、候補1（泊漁港および周辺）と候補2（青少年の家敷地内）ではどちらが良いですか。（別紙資料を参照してください。）

1. 候補1
2. 候補2

※このあとの質問は、問1で選んだ候補地に店舗ができる場合でお答えください。

問2 別紙参考資料の店舗ができた場合、あなたは利用しますか。（1つ選択）

1. 利用する
2. 利用しない { →理由は何ですか（ _____ ）
→どういう条件があれば利用しますか（ _____ ）

問3 どのような商品があると、店舗を利用しますか。（複数選択可能）

1. 食料品
2. 生鮮食品
3. 飲料
4. 酒類
5. 惣菜
6. 日用品
7. 衣料品
8. その他（ _____ ）

問4 住民などで作る団体が店を経営する場合、設立のために世帯で店に対して一口3,000円として寄付できますか。（1つ選択）

店舗を設立する場合、集める必要のある費用は約250万円と試算しています。

泊地域で約800世帯のため、250万円÷800世帯＝1世帯当たり約3,000円

1. 寄付できる { →何口まで寄付できますか（ _____ 口）
2. 寄付できない { →理由は何ですか（ _____ ）
→いくらまでなら寄付できますか（ _____ 円）

裏面へつづく

問5 店が年会費制の場合、会員になりたいですか。(1つ選択)

1. 会員になりたい → 会費はいくら程度まで負担できますか(年 _____ 円程度)
2. 会員になりたくない { → 理由は何ですか(_____)
→ どういう条件があれば負担できますか(_____)

問6 店の運営(店番、商品陳列など)にパート従業員として働いてみたいですか。

(1つ選択)

1. 働きたい
2. 働きたくない { → 理由は何ですか(_____)
→ どういう条件があれば参加しますか(_____)

問7 各地区から店まで移送サービス(ワゴン車、軽ワンボックスなど)がある場合、利用しますか。(1つ選択)

1. 利用する
2. 利用しない { → 理由は何ですか(_____)
→ どういう条件があれば利用しますか(_____)

問8 店から各地区への移動販売(週1回程度、生活用品・生鮮品など取扱)がある場合、利用しますか。(1つ選択)

1. 利用する
2. 利用しない { → 理由は何ですか(_____)
→ どういう条件があれば利用しますか(_____)

問9 店から各家への宅配がある場合、利用しますか。(1つ選択)

1. 利用する
2. 利用しない { → 理由は何ですか(_____)
→ どういう条件があれば利用しますか(_____)

問10 あなた、及びあなたの周りに泊地域で住宅用地を探している方はいますか。(1つ選択)

1. いる → よろしければ希望エリアの記入をお願いします。
(_____)
2. いない

アンケートは、以上になります。ご協力ありがとうございました。